

四季だより

病院理念 私たちは地域の皆様の
健康と暮らしを支えるために力を尽くします

春号 2024年4月(第94号)

陽春の候、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか？

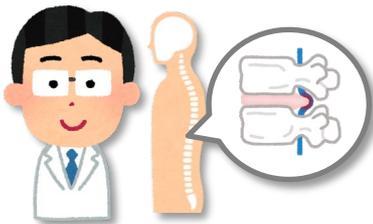


コロナウイルス感染症が感染症法の5類へ引き下げられましたが、現在もコロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス感染症が単発的に発生しており、未だ油断はできません。大勢の人が集まる場所や病院内ではマスク装着を継続しましょう！



今年度のトピックスは年度後半に待望のMRIが設置されます。地域の皆様に検査のため他病院まで出向いていただく必要がなくなります。また安芸津病院は現在、耐震化計画が進行中です。全国的にコロナ後に病院を受診または入院される患者様は減少傾向にあります。当院も例外ではなく、このままでは病院の規模縮小(ベッド数、医師数減)につながる可能性もあり、かかる場合には救急などの医療提供体制が手薄になってしまいます。回避するためには地域の皆様のご協力が欠かせません。安芸津病院を引き続き御利用頂きますよう心より御願ひ申し上げます。

さて、内科では苦痛の少ない経鼻内視鏡検査を行っており、さらにAI技術導入により診断精度が格段に向上しています。外科では胃・大腸がんなどの消化器疾患や脱腸(ヘルニア)、痔などの一般外科に加え緩和医療、化学療法にも幅広く対応しています。整形外科は脊椎専門の医師が赴任しました。



皆様の健康寿命延伸のため是非、当院を御活用ください。



院長 後藤 俊彦



ご連絡



令和6年4月1日より各診療科の医師が変更となりました。外来診療体制に変更はありません。ご理解の程よろしくお願ひいたします。

- ・ 整形外科
(変更前) 五月女 洋介 → (変更後) 平松 武
- ・ 循環器内科
(変更前) 日高 貴之 → (変更後) 板倉 希帆

医療経営係





新任・着任職員紹介



整形外科 部長
平松 武

JA 広島総合病院より参りました、平松 武と申します。

広島国泰寺高校出身で、部活は応援団に所属していました。金沢医科大学に入学後は、サーフィン部に所属し、能登や宮崎でサーフィンを楽しんでいました、

平成 10 年に金沢医科大学を卒業し、広島大学麻酔集中治療科に入局し、広島大学病院、県立広島病院、安佐市民病院、中国労災病院など 5 年間勤務したのちに、広島大学整形外科に入局。今まで広島大学病院、済生会広島病院、中国労災病院、JA 広島総合病院に勤務し、JA 広島総合病院では、藤本 吉範先生の御指導のもとで、脊椎外傷（脊椎損傷、脱臼骨折、骨粗鬆症性椎体骨折など）

や変性疾患（頸椎後縦靭帯骨化症、頸椎症性脊髄症、胸髄症、腰部脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア、腰椎変性側弯症）や思春期特発性側弯症などの手術や診療をおこなってきました。

県立安芸津病院では、脊椎手術ができるかわかりませんが、これまでの知識を活かし安芸津の医療に貢献できるよう頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

県立安芸津病院では、脊椎手術ができるかわかりませんが、これまでの知識を活かし安芸津の医療に貢献できるよう頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。



内科外来
副看護部長
感染管理認定看護師
吉田 美香

4 月から内科外来に配属になりました副看護部長の吉田美香と申します。

これまで、病棟、手術室、外科外来で勤務し、感染管理認定看護師資格を活かした院内の感染管理や地域での研修会、広島県感染症医療支援チームの活動等を行ってまいりました。

私にとって内科外来は、入職 1 年目にお世話になった部署です。当院の内科外来は、高血圧、糖尿病、脂質異常症等の生活習慣病をはじめ、幅広い分野の内科疾患の診療を行っています。最新の AI 内視鏡を使った検査や治療、人間ドック、検診等を行い、病気の予防や早期発見に努めています。

また、禁煙外来やフットケア外来、肝疾患等の専門外来では、専門医による診療や生活習慣病予防と重症化予防のための支援を行っています。

糖尿病により神経障害や血流障害、抵抗力の低下が起こると、足潰瘍や足壊疽などの糖尿病足病変を発症します。足病変の早期発見と予防のため、患者様に適した日々の足のお手入れ方法を一緒に考え、ご自身でケアができるようにサポートします。

患者様が住み慣れた地域で望む生活が送れるように、訪問診療・訪問看護も行っています。

一人一人の思いを尊重し、細やかな心配りのある温かい看護を目指し、様々な医療スタッフや地域の施設と連携しながら、チームで支援を行っています。ご相談等ありましたら、どうぞお気軽にお声がけください。





外科外来
看護師長
荒谷 るり子

令和6年4月1日より、1階外科外来へ配属となりました外来師長の荒谷るり子です。

これまでは手術室や各病棟で働いてきました。外来業務は病棟業務と異なり慣れないことばかりの毎日で戸惑うこともあります。今まで学んだ経験を活かし、少しでも早く皆様のお役に立てるよう頑張っていきたいと思っております。

外来勤務となり1か月も経っていませんが、まだ慣れない中でもうれしいこともありました。それは、病棟に入院していた患者が元気な姿で外来受診されている姿を見かけたときです。とてもうれしく感じました。1人の患者様に多部署で多数の職員が連携し関わり、退院後のケアまでつなぐ継続看護の大切さを日々感じています。

外来は、病棟に比べ患者様のそばで関わる時間は短いですが、外来看護師として医師の治療方針に沿った生活指導や、患者様とその家族が在宅生活を送る中で困っていることなど、病棟での経験を少しでも患者様へ提供していくとともに、安芸津病院の職員の1人として、その人らしい生活を支えていくためにも微力ながらお手伝いしたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

春は何かと体調を崩しやすい季節です。ご自愛ください。



放射線科技師長
神原 芳夫

令和6年4月から放射線科技師長に就任いたしました神原と申します。出身は、福山市で今も福山から通勤しております。福山市は、バラの町でバラ公園が有名ですが、私の趣味も妻と共に庭でバラを育てることです。5月中旬には自宅の庭にバラが一斉に咲き、その華やかさに毎年心が癒されております。福山のバラ公園では、バラの植え替えが行われ5月18日・19日に「バラ祭」が開催されます。また、来年には「世界バラ会議」も開催される予定です。それも楽しみにしています。

さて放射線科では、今年度中に待望のMRI装置の導入が決定しております。MRI装置は、CTでは診断が困難な早期の脳梗塞、骨折、膝や肩の腱板・じん帯損傷などの画像診断が可能となります。今までMRI検査が必要な患者様には他院でMRI検査を受けて頂いており、大変ご足労をお掛けし申し訳ない思いでしたが、今後は当院にてMRI検査も受けて頂けることをうれしく思っております。

我々、放射線技師は、医師の診断を補助するため、最良の画像を提供できるよう日々自己研鑽を積んでおります。また、受診される患者様には安全な検査を受けて頂けるように、放射線を利用する撮影装置では精度管理を日々行い、医療被曝を最小限に抑えるようにも取り組んでおります。是非とも安心して当院をご利用いただくと幸いです。放射線検査についてご不明な点があれば、何なりと放射線科の受付にてお声がけください。

これからもよろしくお願い致します。





地域医療連携・入退院支援室
医療ソーシャルワーカー
社会福祉士
河田 知子

県立広島病院から4月に赴任してまいりました医療ソーシャルワーカー（MSW）の河田知子と申します。

県立安芸津病院へ赴任して早3週間が経ちました。私は、海での魚釣りや山奥へのドライブなど自然が大好きなこともあり、安芸津病院の土地柄はとても魅力的でした。また、こちらに赴任してきて、土地柄だけでなく、人も穏やかでなんて素敵な病院なのだろうと感じています。

前任地の広島病院は広島県全域を対象とした救急医療、脳心臓血管医療、育成医療、がん医療を柱とした基幹病院で、高度急性期医療を担う病院です。

前職では、8年ほど患者総合支援センターの入退院支援室で、医療ソーシャルワーカーとして勤務しておりました。医療ソーシャルワーカーという名称は、あまり聞き慣れないかと思いますが、簡単にいうと病気や怪我を負ったときに治療以外にでてきた悩みや不安（お金、仕事、障害、子育て、介護等）に対してお話を伺う相談員です。

を伺う相談員です。

患者様のご相談を伺った中で、この患者様はこの制度を利用されてはどうか、この機関へつなげる方が良いのではなど、その患者様にあった提案をさせて頂きます。誰一人として同じ人生を歩まれる方はおらず、患者様の抱える悩みも十人十色であり、相談員は一人一人の患者様に寄り添うことが大切だと強く感じております。河田相談員に相談して良かったと思っただけのように、日々、精進していきたく思っております。

よろしくお願ひ致します。



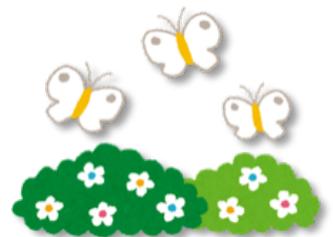
編集後記

初春の日差し麗らかなころ、ようやく寒さも緩んでまいりましたがいかがお過ごしでしょうか。新年度を迎え、当院では新しいスタッフも加わり気持ちも新たにスタートを切りました。地域の皆様の健康と暮らしを支えるためにも職員一丸となり、全力を尽くして参りたいと考えておりますので引き続きご愛顧のほどよろしくお願い致します。

昨年度は、当院を受診して頂いている皆様や受診する医療機関をお悩みの皆様とふれあいを持つため、7月は大崎上島町の大崎上島文化センター、11月と3月は安芸津町の万葉ホールにて医療公開講座を開催させていただきました。

3月の講演では、「当院でおこなった人工関節術（TKA・THA）の変遷」「生物由来の感染症～生き物の生態と感染症の関係」「おいしく、楽しく、安全に「食」を守る摂食支援」の3つでしたが、「興味のあるテーマだった」、「内容がよかった」、「よく理解できた」といった嬉しいお声を頂戴しました。

当院をより知っていただくためにも、今年度も地域住民の方々のご要望に沿った内容にて開催したいと考えていますので、是非とも多くの皆様のご参加をよろしくお願い致します。



副院長（兼）看護部長 胡 美恵

